

生きがいに満ちた生涯学習のまち相馬をめざそう!



# 生涯学習 だより

暮らしに潤い 心にゆとり  
笑顔広がる 生涯学習

令和7年度  
No.2

3月15日発行  
相馬市生涯学習  
推進本部



2025年  
11月30日

## クリスマスワークショップ 「クリスマスの準備をしよう!!」

LVMHモエヘネシー・ルイヴィトン・ジャパン合同会社によりLVMH子どもアート・メゾンでクリスマスワークショップ「クリスマスの準備をしよう!!」が開催され、市内の小学生など16名が参加しました。

参加者達は、クイズでクリスマスについて楽しく学んだ後、ツリーに飾るオーナメントやクリスマスリースの製作を行いました。

無装飾のリース台やオーナメントに色とりどりのビーズやリボン等を使って思い思いの装飾を施し、世界に一つだけのオリジナルクリスマスリースやオーナメントを作って見せあうなど、ハンドメイドの楽しさや喜びを存分に体験することができました。



問い合わせ先

相馬市生涯学習推進本部事務局：相馬市教育委員会生涯学習課 TEL 37-2187

## 「ふくしまを十七字で奏でよう」最優秀賞受賞

最優秀  
受賞作品

「浴衣紐 祖母の温もり ほどけずに」 木村 華乃さん  
「よみがえる 護りし衣に 夏の風」 齋藤 勝子さん

12月6日、令和7年度「ふくしまを十七字で奏でよう ふくしま絆ふれあい支援事業」表彰式が福島市飯坂町の「あづま荘」にて行われ、本市からは中村第一中学校3年木村華乃さん(孫)・齋藤勝子さん(祖母)が絆部門最優秀賞に選ばれました。

また、相双域内表彰式が12月12日、南相馬合同庁舎(南相馬市)にて行われ、相馬市から4組のペアが入賞を果たしました。

この事業は、子どもたちが家族や友人などとペアを組み、日頃感じた思いや願いを17音で表現することで、豊かな心を育てるとともに、人と人との絆を深めることを狙いとし、県教育委員会が主催しています。今年は県内外から36,166組、うち相双地区では5,881組、(絆部門4,161組、ふるさと部門1,720組)の応募がありました。



### 【絆部門】

佳作 「父の手と 同じ縄引く 夢の朝」 佐藤 拓さん (中村二小5年)  
「朝焼けに 網を引く背が 語る夢」 佐藤 勇二さん (父)

### 【ふるさと部門】

優秀賞 「ちょうちんが 明るくてらす みんなの笑顔」 栗村 菜央さん (中村二小3年)  
「更地にも 未来を刻む たいこの音」 栗村由賀利さん (母)

佳作 「野馬追の 歴史がひらく 大手門」 大江咲太郎さん (中村一中1年)  
「陣螺の 音を合図に いざ開門」 今野 孝子さん (祖母)

佳作 「母が言う 思い出の場所 そこに立つ」 島 太将さん (向陽中2年)  
「思い出す 子が立つ場所に あった家」 島 七絵さん (母)

## インフォメーション

第11回エル・システム子ども音楽祭in相馬 ●3月21日(土) 14:30開演

会場 相馬市民会館 大ホール 料金 無料・自由席(整理券制)

相馬子どもオーケストラ&コーラスや市内中学校吹奏楽部などによる感動のステージ!ぜひご来場ください。

そうま音楽夢工房第85回演奏会 カジュアルマリンバコンサート ●6月6日(土) 14:00開演

会場 相馬市民会館 多目的ホール 料金 一般500円(高校生以下無料) ※詳細は今後市ホームページ等でお知らせします。

マリンバ2台とピアノで奏でる響きをリズムの躍動とともにお届けします!

第45回市民歩け歩け大会 ●6月6日(土) (予定) ※詳細は今後市ホームページ等でお知らせします。

料金 無料(事前予約制)

初夏の相馬を自分のペースで楽しく歩きましょう!

## 相馬市スポーツ協会 スポーツ講演会開催 夢実現への歩み ～福島と共に生きる～



講師

元バドミントン日本代表  
**大堀 彩さん**  
(会津若松市出身)



主な戦歴

- ・2024年パリ五輪5位入賞 (女子シングルス)
- ・2024年ワールドツアーファイナルズ シングルス3位
- ・2023年第19回アジア大会 シングルス3位
- ・2013年アジアジュニア選手権 シングルス優勝

1月18日、相馬市総合福祉センター（はまなす館）で、相馬市スポーツ協会主催により、スポーツ講演会が開催されました。講師として元バドミントン日本代表の大堀彩さんを迎え、「夢実現への歩み～福島と共に生きる～」をテーマに講演いただきました。講演には、市内外から約200名もの参加者が集まりました。

大堀さんは東日本大震災で被災し、避難生活を強いられながらも仲間と練習を続け、五輪出場をかなえた競技人生を振り返り、夢を明確に持つことや一日一日を精一杯生きることの大切さを語りました。

講演後、4名の小中学生が大堀さんから直接実技指導を受ける機会を設けていただきました。それぞれのリクエストに応え、丁寧にアドバイスをいただき、選手として非常に貴重な経験となりました。



大堀さんからの実技指導

### 受講者の感想



- 大堀選手にいていねいに分かりやすく教えてもらい、スマッシュやドライブのこつがよく分かりました。今後の大会でも実践できるように、練習をがんばっていきたいです。  
中村第一小学校6年 大塚 小夏さん (相馬シャトルズジュニア)



- 僕が今日の大堀さんの話で特に心に残ったのは、当たり前を大事にするということです。友達や環境に恵まれたこの当たり前の生活を大切に、実りのある練習をしていきたいです。  
中村第一中学校2年 八巻 諒成さん (中村第一中学校バドミントン部)



- 相馬でこのような機会がないのでとても良かったです。大堀さんの言っていたことをこれから実践し、中体連県大会出場できるようにがんばっていきたいと思います。  
中村第一中学校2年 川村 聖さん (中村第一中学校バドミントン部)

## 毎年1月26日は「文化財防火デー」 蒼龍寺で防火訓練を実施しました



令和8年1月24日 (土) 蒼龍寺 防火訓練の様子



### 文化財防火デーとは？

文化財防火デーは、日本の貴重な文化財を火災から守るため、毎年1月26日に設けられた記念日です。この日は、全国で消防訓練や防火意識の向上を図るイベントが展開されます。

そのきっかけとなったのは、1949年に奈良県の法隆寺金堂で起きた火災で、歴史的価値の高い国宝の壁画が失われてしまった事故でした。この日を通じ、防火訓練や啓発活動が全国各地で展開され、文化財保護の重要性を広く訴える場となっています。近年では沖縄の首里城火災やフランス・ノートルダム大聖堂の大規模火災が記憶に新しく、文化財が火災で失われる深刻さを改めて実感する機会ともなりました。

文化財は国や地域の歴史と文化の結晶です。その喪失は過去の記憶を失うだけでなく、未来への貴重な遺産も失うことにつながります。文化財防火デーは、文化財を火災だけでなく自然災害や人為的破壊から守るため、私たち一人ひとりが意識を高め、具体的な防護策を講じる契機となる重要な取り組みです。

### 蒼龍寺について

蒼龍寺は相馬市に鎮座する曹洞宗の仏教寺院です。蒼龍寺には、市の有形文化財である相馬義胤（そうま よしたね）遺言状が保管されています。

相馬義胤は、江戸時代前期の大名で、陸奥国相馬藩の藩主を務めた人物です。彼の死後、家督継承を巡る問題が起きたことから、江戸幕府が「末期養子」を認める契機となった重要な歴史人物とされています。



※義胤には長男がいましたが早世したため後継者がおらず、義胤自身の死期が迫る中で相馬家の存続が危ぶまれました。この状況で幕府は例外的に、末期養子（臨終間際の養子縁組）を認め、相馬家存続を許可したのです。これがきっかけとなり、「末期養子」の禁止を緩和する制度が1651年に幕府で導入されました。この制度は、その後、養子縁組による家名存続が可能になるため、多くの大名家や武家を救う重要な仕組みとなりました。